

113. 漢字の習得と指導のしかた

【問い】 長女（小4）の学校では毎年、夏休みに「漢字の練習」を課題に出しています。去年は私も一緒になってやりましたが、効果はさっぱりでした。家庭ではどのように指導したらよいでしょうか。

【答え】 漢字の習得には時間をかけて反復練習することが必要ですし、夏休みは最もよい機会でしょう。しかし何回書くといった機械的な繰り返しでは効果がありません。次の点を配慮し、援助指導をしてみてください。

①漢字は意味を持った言葉です。意味がわからないで文字の形だけを覚えても役に立ちません。意味を確認させながら練習させることです。

②読めない漢字をいくら書いても覚えません。まず読めることです。4年生ですから音読み、訓読みの違いはわかっているはずですが、漢字にはいく通りも読み方があることを気づかせながら、読みの幅を広げてやってください。音訓は教科書の巻末にあります。訓読みの漢字は送りがなと一緒に練習させることがコツです。

③漢字は7つの部分（へん、つくり、かんむり、あし、たれ、かまえ、にょう）の組み合わせからきています。これを部首といいます。各部首名を覚えさせるよう一家団らんのときにでも、それを話題にしてください。漢字に親しみを持たせ、夏休みの生活のなかで多く書かせる配慮が大切です。